

中絶の権利をめぐる論争 を多角的に検討する

交通アクセス



申込はこちら



申込締切日
2023年9月29日
(金)

(教室変更になった際、
お申込みいただいた
メールアドレスにご連絡
いたします。)

プログラム

開会の挨拶・趣旨説明
16:30～16:40

第1部 講演会

16:40～17:40

2022年6月24日、アメリカ連邦最高裁判所のドブス対ジャクソン女性保険機構判決において、ロウ対ウェイド判決（1973年）を覆す判断がなされた。これにより、人工妊娠中絶の権利は州単位の判断に委ねられることになった。本コロキアムは昨今の中絶の権利をめぐる論争の歴史的背景および問題の所在を多角的に捉え、ニュースなどの報道をより深く理解し、中絶の権利をめぐる論争を多角的に理解する機会となることを目指すものである。そのためにコロキアムは二部構成で実施する。前半は小竹 聡氏（拓殖大学政経学部 教授）を講師に迎え、ご著書（『アメリカ合衆国における妊娠中絶の法と政治』日本評論社、2021年）に基づいて、アメリカ連邦最高裁判所の判決の推移と政治の展開についてお話いただく。

その講演を受ける形で第二部では、アメリカ国内外の政治、ジェンダー、宗教および国際関係をご専門とする3名の先生方にご登壇いただき、それぞれのご専門の観点から中絶論争をいかに見ているか、問題の所在などに関してコメントを頂戴する。コメンテーターには、アメリカ国内外の政治の観点について、三牧聖子氏（同志社大学大学院GS研究科 准教授）、ジェンダーの観点から秋林こずえ氏（同志社大学大学院 GS 研究科 教授）、さらにアメリカ国内の宗教界の内情や信教の自由の名の下に進めるアメリカの外交政策と中絶問題の関わりに関して松本佐保氏（日本大学国際関係学部 教授）に解説いただき、再び第1部の講師である小竹氏を交え討論の時間を設ける。討論の時間では時間の許す限りフロアからの質問も取り上げる予定である。

日時: 2023年10月6日 (金)

16:30～19:15 (二部構成)

場所: 同志社大学今出川キャンパス 良心館RY305教室 (予定)

講演: 中絶判例の変更と生殖の権利の将来



講師: 小竹 聡 (こたけ さとし)
拓殖大学政経学部・教授

専門: 憲法学、アメリカ憲法学。博士（法学、早稲田大学）。1961年新潟生まれ。早稲田大学法学部卒業、同大学院法学研究科修士課程修了、博士後期課程中退。シカゴ大学ロー・スクール修了。ペンシルベニア大学ロー・スクール客員研究員等を歴任。2023年4月より拓殖大学図書館長。主な著作として、『アメリカ合衆国における妊娠中絶の法と政治』（単著、日本評論社、2021年）、『アメリカ憲法判例の展開—2015-2018』（共編著、日本評論社、2023年）、『自由と平和の構想力—憲法学からの直言』（分担執筆、日本評論社、2023年）、『多様化するアメリカと合衆国最高裁判所—ロバーツ・コート軌跡と課題』（分担執筆、成文堂、2023年）、『アメリカ憲法と民主政』（分担執筆、成文堂、2021年）等がある。

【講演要旨】

2022年6月24日、合衆国最高裁判所は、Dobbs判決において、1973年のRoe判決および1992年のCasey判決を覆し、合衆国憲法は、妊娠中絶に対する権利を保障していないと判示した。本報告は、このDobbs判決の内容を批判的に検討しながら、本判決によって何が覆されたのか、どうやって覆されたのか、また、なぜ覆されたのかを明らかにするとともに、中絶の権利を含む、生殖の権利の将来を展望することとする。

第2部

コメント

17:50 ~ 18:35

休憩
(10分)

討論 (質疑応答含む)

18:45 ~ 19:15

閉会

コメンテーター

国内外の政治・ジェンダー・宗教・国際政治



三牧 聖子 (みまき せいこ)

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科・准教授

東京大学教養学部卒、同大学院総合文化研究科で博士号取得（学術）。専門はアメリカ政治外交。著書に『戦争違法化運動の時代－「危機の20年」のアメリカ国際関係思想』（名古屋大学出版会）、共著に『私たちが声を上げるとき』（集英社）、共訳・解説に『リベラリズム 失われた歴史と現在』（青土社）、近刊に『Z世代のアメリカ』（NHK出版新書）。



秋林 こずえ (あきばやし こずえ)

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科・教授

日本女子大学卒。コロンビア大学教育学大学院修士（M.Ed）、博士（Ed.D.）。立命館大学国際関係学部准教授を経て、現職。Women's International League for Peace and Freedom、国際会長（2015～2018）。近刊に『Feminist Conversations on Peace』（Bristol University Press、共著）、『沖繩にみる性暴力と軍事主義』（御茶の水書房、共著）等がある。



松本 佐保 (まつもと さほ)

日本大学国際関係学部・教授

慶應義塾大学大学院修士、英国ウォーリック大学大学院博士号（PhD）名古屋立大学教授を経て日本大学国際関係学部・教授。専門は宗教と国際政治、著書に『アメリカを動かす宗教ナショナリズム』、『熱狂する神の国アメリカ』、『パチカンと国際政治』他。

問合せ

同志社大学アメリカ研究所事務室

ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-4900

どなたでもご参加いただけます。
当日のご参加も歓迎！！